

ウインドクラストとモナカ雪の 戸沢ヒル! 会津・大戸沢岳・桑場小沢

1995年3月27日

メンバー：L岩 毅 手塚紀恵子、山村高也

3/27 晴のち曇 今年、登山口にまだ
2m近い積雪がある。
宿の御主人によると例年より1m以上多いと
のこと。

登山口からはやはりシュプールがたくさん
あり、いつも登りに使うルートにもしっかり
トレースがあったのでそのまま使わせてもら
う。今朝は檜枝岐で-10℃まで冷え込み一
部クラストしておりスキーアイゼンを使う。
今期2度目の会津駒は、また、快晴だった。
大戸沢岳まで、そのまま、シールで進む。快
適な稜線散歩だが、天候が下り坂なのが気にな
る。大戸沢岳北端14時、天候は、まだ晴
れ、西方の山は霞みつつあるが東方の山には
春の陽がよくさしている。

滑り出しはややウインドクラスト気味だっ
たが快適にスキーを滑らす。しかし、下るに
つれて、クラストがきつくなり、ついには、
全面完全モナカ雪となる。しかも、山頂から
離れるにしたがいサインカーブを描くように
斜度がきつくなる。全面完全モナカ+無立木
大斜面+30度急斜面である。くやしかな
、回せない。仕方なく斜滑降、キックターン
で下る。心の中では、今度また来るぞ、今度
は回してやるぞ、と叫びながら。大戸沢尾根
は木が密集しており、桑場小沢にはいる。こ
の沢は思ったより広く快適である、もちろん
、水は雪の下、白銀の斜面が続く。大戸沢岳
からの滑降ルートとしては、この桑場小沢を
使う方が適当に思える。桑場小沢から下大戸
沢の出合は、桑場小沢側が少し切れている。
このため、いったん南側の大戸沢尾根側の台
地に上がってから下大戸沢に滑り込むと良い
。この下大戸沢もとても明るく広い沢で、こ

れまた気持ちが良い。また、ここからのぞむ
大戸沢岳から三岩岳の稜線は鋭いひださえ見
せて、会津駒とはまた違った印象を与える。
三岩沢は雄大で、もし滑降できれば素晴らしい
が、雪崩には十分注意が要るだろう。広い
下大戸沢を快適に滑り、下大戸沢スノーシェ
ッドの檜枝岐側出口に出る。沢をうまく使っ
たおかげで、モナカにもかかわらず標高差12
50mを1時間45分で下る。さらにラッキーな
ことに、国道に下りてすぐに檜枝岐行バスが
来て、あっという間に宿に戻れた。天気はず
でに曇りだが、なんとか保った。

(タイム)檜枝岐7:40 (車)滝沢橋(930m)8:00—
TV塔(1370m)9:30—1700m点11:00—1950m点12
:00—会津駒山頂(2132.4m)13:05—大戸沢岳
(2089m)13:50—同北端14:00, 14:25—桑場
小沢上部(1680m)15:25—桑場小沢(1100m)
15:55—下大戸沢スノーシェッド(840m)16:10, 16:
15 (バス)檜枝岐16:30 (岩 毅 記)

